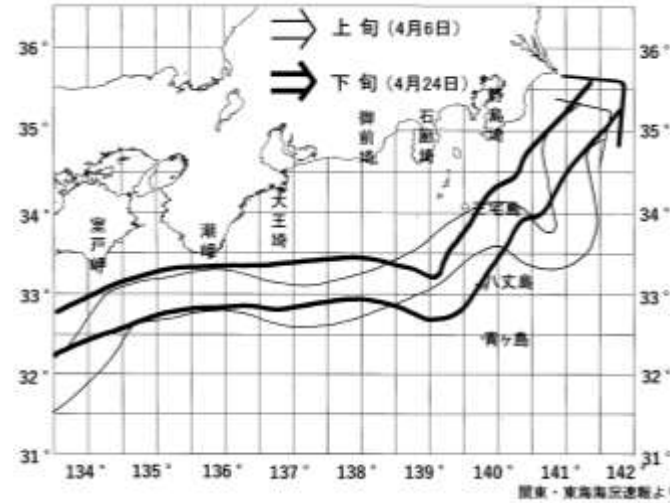


漁海況月報

令和8年4月1日

No. 4 ~4月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



4月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.2	15.1	14.9	15.5	16.3	15.8
	0.3	-0.3	-0.4	-0.4	0.4	0.3
中旬	16.2	16.1	16.3	16.5	17.1	16.7
	0.7	0.2	0.5	0.0	0.4	0.5
下旬	17.5	18.5	18.4	17.9	17.8	17.4
	1.4	2.0	2.0	0.5	0.3	0.4
月	16.3	16.6	16.5	16.6	17.1	16.6
	0.8	0.6	0.6	0.0	0.4	0.4

*平年値：過去30年(平成3年～令和2年)の平均値

【黒潮流路】

4月を通して、潮岬沖33.0°N付近を東進し、八丈島の北を北上するようなB型基調の流路で推移した。

上旬は潮岬沖から御前崎沖まで33.0°N付近をやや南へ蛇行しながら東進し、八丈島の北34.0°N付近まで北上した後、N字状に蛇行しながら北に流去した。暖水波及は三宅島への黒潮接岸地点付近から石廊崎に向けて見られた。

中旬は潮岬沖から石廊崎沖まで33.0°N付近を東進し、八丈島の北を通過しながら、野島崎沖34.0°N付近まで北上した後、北東へ流去した。暖水波及は野島崎沖の黒潮屈曲部から北西に向けて見られた。

下旬は潮岬沖から石廊崎沖まで33.0°N付近を東進した後、石廊崎沖で屈曲し、そのまま直線上に北東へ流去した。暖水波及は野島崎沖の黒潮北上部から相模湾に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は全ての観測点で「平年並」であった。中旬は伊東、下田、焼津で「やや高め」、稲取、雲見、沼津で「平年並」であった。下旬は稲取、下田で「高め」、伊東、雲見で「やや高め」、沼津、焼津で「平年並」であった。

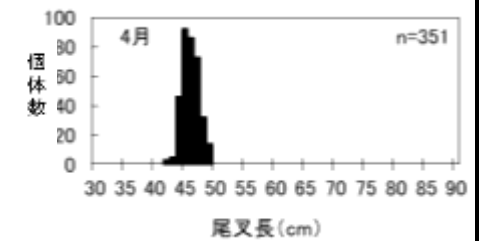
【竿釣カツオ】

4月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは27.5トンで、前年同月(95.3トン)の28.9%であった。平均単価は646円/kgで前年同月(629円/kg)並であった。

4月15日に御前崎港で実施した市場調査では、漁場が33°06'N、134°41'Eの大正瀬(室戸岬沖)で水揚げされたカツオの尾叉長組成は小銘柄(尾叉長45cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R8年4月上旬	2.9	2	1.5	848
中旬	11.6	3	3.9	639
下旬	13.0	3	4.3	608
R8年4月計	27.5	8	3.4	646
R7年4月計	95.3	28	3.4	629
R6年4月計	22.3	15	1.5	533



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は391.0トンで、前年(342.9トン)の1.1倍、平年(429.1トン)の91%であった。また、1か統当たりの水揚量は55.9トン(前年:49.0トン、平年:61.3トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(106.4トン、マアジ、カタクチイワシ、ブリ)、次いで伊豆山漁場(102.7トン、マアジ、ブリ、カタクチイワシ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、マアジは141.4トン(前年比1.6倍、平年比1.3倍)、ブリは62.9トン(前年比38%、平年比1.4倍)で銘柄ぶり、わらさ主体であった。さば類は62.4トン(前年比2.4倍、平年比1.0倍)で、水揚げされたさば類のうち、マサバは6.3トン(前年比1.2倍、平年比28%)、ゴマサバは38.9トン(前年比2.2倍、平年比86%)、さばっこは17.1トン(前年比5.9倍、平年比13.0倍)であった。カタクチイワシは36.8トン(前年比8.7倍、平年比90%)で、ヒラマサは15.3トン(前年比1.5倍、平年比2.8倍)であった。その他の魚種については、クロマグロ(7.3トン、前年比6.5倍、平年比51.0倍)、マダイ(4.3トン、前年比2.4倍、平年比5.4倍)、ヒラソウダ(0.4トン、前年比1.9倍、平年比10.9倍)が昭和57年以降、キハダ(1.7トン、前年比2.2倍、平年比47.3倍)が昭和62年以降、クサヤモロ(2.1トン、平年比460.0倍(前年水揚げ無し))、イボダイ(2.1トン、前年比3.6倍、平年比5.8倍)が平成9年以降、最も水揚量が多かった。

多獲された魚種の水揚量の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マアジでは伊豆山漁場が30%(42.3トン)、古網漁場が29%(40.3トン)、川奈漁場が17%(23.5トン)、ブリでは古網漁場が32%(20.2トン)、伊豆山漁場が29%(18.5トン)、川奈漁場が27%(16.8トン)、さば類では川奈漁場が29%(17.9トン)、富戸漁場が18%(11.0トン)、北川漁場が17%(10.7トン)、古網漁場が

16% (10.1 トン)、カタクチイワシでは伊豆山漁場が61%(22.6 トン)、古網漁場が35%(13.1 トン)、ヒラマサでは古網漁場が53% (8.1 トン)、富戸漁場が30%(4.6 トン)、であった。

* 平年：昭和57年～令和7年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マアジ	141.4	1.60	1.28	伊豆山、古網、川奈
ブリ	62.9	0.38	1.39	古網、伊豆山、川奈
さば類	62.4	2.44	1.01	川奈、富戸、北川、古網
カタクチイワシ	36.8	8.66	0.90	伊豆山、古網
ヒラマサ	15.3	1.48	2.79	古網、富戸

[サクラエビ船曳網]

4月の出漁日数は9日、水揚量は113.3トンであった(前年同月の出漁日数は10日、水揚量は166.8トン)。主漁場は沼津沖～富士川沖であった。漁獲されたサクラエビの体長組成は35～36mmにモードがあった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R8年4月上旬	58.1	3	沼津沖～富士川沖
中旬	51.4	3	沼津沖～富士川沖
下旬	3.8	3	蒲原沖
R8年4月計	113.3	9	—
R7年4月計	166.8	10	沼津沖～田子の浦沖、由比沖
R6年4月計	215.7	11	富士川沖～由比沖

[まき網(さば類)]

県内3港(伊東、沼津、小川)のまき網による水揚量はマサバ1.4トン(前年同月比:0.2%)、ゴマサバ133.1トン(前年同月比:15.6%)であり、1か統当たり水揚量(CPUE)はマサバ0.1トン(前年同月比:1.3%)、ゴマサバ5.1トン(前年同月比:47.2%)であった。平均単価はマサバ531円/kg、ゴマサバは235円/kgであり、前年同月(マサバ:160円/kg、ゴマサバ:174円/kg)を上回った。

3港のさば類水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚統数	水揚量/統(トン)		平均単価(円/kg)	
	マサバ	ゴマサバ		マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ
R8年4月上旬	0.0	13.2	3	0.0	4.4	296	217
中旬	0.0	103.5	19	0.0	5.4	506	236
下旬	1.3	16.5	4	0.3	4.1	534	241
R8年4月計	1.4	133.1	26	0.1	5.1	531	235
R7年4月計	846.5	854.8	79	10.7	10.8	160	174
R6年4月計	129.7	11.6	58	2.2	0.2	144	138

*水揚量については、港ごと、旬ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

*CPUEの算出に船団規模は考慮していない。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、小川港では1.4トン(前年同月比1.3%、平年同月比0.4%)、沼津港では7.2トン(前年同月比0.8%、平年同月比1.0%)で、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。

カタクチイワシの水揚量は、沼津港で12.6トン(前年同月比3.8倍、平年同月比9.0倍)であり、小川港、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。

伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシが2.0トン、カタクチイワシが36.8トンであった。
* 平年：過去5か年(令和3年～令和7年)の平均値

[シラス船曳網]

県内7港の水揚量は702.1トンで前年同月(406トン)の1.7倍、平年同月(過去5か年平均:686.9トン)の1.0倍であった。また、1日1か統当たりの水揚量は467kgで、前年同月(317kg)の1.5倍、平年同月(367kg)の1.3倍であり、海域別では、遠州灘(新居、舞阪、福田、御前崎)が586kg、駿河湾(吉田、用宗、由比)が289kgであった。

平均単価は973円/kgで前年同月(818円/kg)の1.2倍、平年同月(899円/kg)の1.1倍で、前年同月、平年同月を共に上回った。
* 平年：過去5か年(令和3年～令和7年)の平均値

7港のシラス水揚量

漁港		水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
遠州灘	新居	47.5	12	98	485	785
	舞阪	245.0	12	433	566	699
	福田	156.7	11	250	627	1,089
	御前崎	78.4	15	120	654	1,116
駿河湾	吉田	122.8	16	367	335	1,249
	用宗	43.3	10	164	264	1,224
	由比	8.3	6	72	115	1,186
R8年4月計		702.1	82	1,504	467	973
R7年4月計		406.1	72	1,283	317	818
R6年4月計		511.6	99	2,067	247	996

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

[調査船駿河丸の動向]

4月8日	～	4月9日	地先定線観測調査	(2日間)
4月13日	～	4月14日	MaOI 深海採水調査	(2日間)
4月16日	～	4月17日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
4月21日	～	4月23日	カツオ魚群分布調査	(3日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

